

## 白鷹町出身作曲家 紺野陽吉遺作演奏会



4月7日、あゆ一むで作曲家紺野陽吉の遺作が演奏されました。紺野陽吉は東根地区出身。音楽家を志し上京しましたが、昭和20年、出征先の中国で戦死しました。（享年32歳）今回は、山形弦楽四重奏団により、遺稿3作のうち2作が演奏されました。完成度の高い難曲でありながら、懐かしさを感じる日本的な旋律に、約150人の観客は皆聴き入っていました。

## 今年もみんなとがんばります スポーツ少年団合同結団式



白鷹町スポーツ少年団の合同結団式が、4月13日、荒砥小学校体育館で行われました。竹田久次本部長から各団体に団旗が手渡された後、25団体486人を代表して、リトルホークス野球スポーツ少年団の鈴木純也君（荒砥小学校6年）が誓いのことばを述べました。指導者のみなさんのもと、ケガのないようにスポーツを楽しみ、技術の向上をめざしてほしいですね。

## 春のうたで幕開け 第2回白鷹古典桜展 in あゆ一む



あゆ一むで4月20日から5月6日まで「第2回白鷹古典桜展 in あゆ一む」が開催されました。オープニングセレモニーの白鷹町少年少女合唱団の歌声で開幕。期間中は桜にちなんださまざまなものが展示されたほか、「桜マーケット」などのイベントも催されて、多くの人でにぎわいを見せました。

## 手づくりのぬくもりが伝わります 白鷹人形研究会30周年記念展示会



4月20日より、白鷹人形研究会の創立30周年を記念して、これまで制作された作品の展示会が開催されています。深山和紙を使いひとつひとつ細かいところまで丁寧に作られた作品は、どれもあたたかさを感じられます。5月19日まで（水曜日・土曜日・日曜日と祝祭日のみ）展示されており、和紙人形作りも体験できます。みなさんもぜひご覧になってください。

## オール白鷹産の逸品です

このほど、「しらたか天蚕の会」によって飼育された天蚕糸を使って織りあげた白鷹紬の反物が完成しました。天蚕は病気に弱く、外敵からの見守りなど、飼育がたいへんですが、繭から取れる薄緑色の糸には美しい光沢があります。

会ではこれまで繭の出荷を続けてきましたが、今回初めて、飼育、操糸、織りを経て反物に仕上げ、オール白鷹さんの逸品ができあがりました。反物は深山和紙に包まれ、東京銀座の着物専門店に納品されました。

